

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

彦根市教育委員会事務局

調査の目的・内容

(1) 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査対象

国・公・私立学校の小学校第6学年 中学校第3学年 原則として全児童生徒

(3) 調査事項

① 児童生徒に対する調査

ア: 教科に関する調査(国語 算数・数学) **(中学のみ英語)**

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は以下のとおり。

- ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。

イ: 質問紙調査

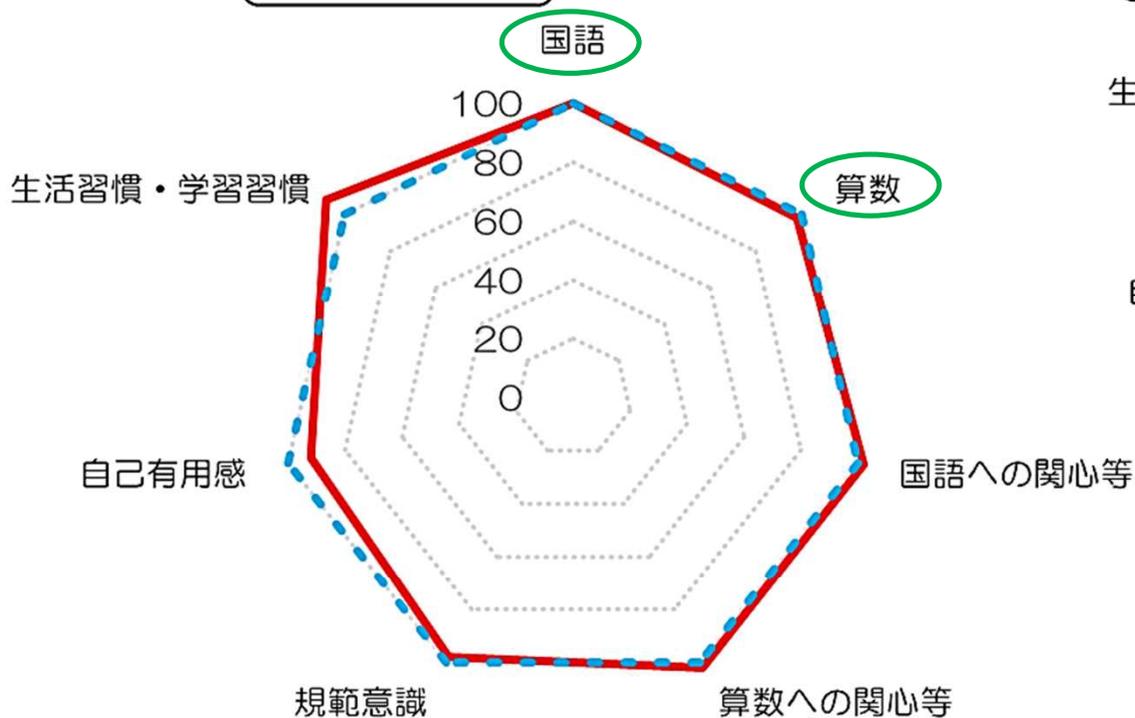
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等

② 学校質問紙調査

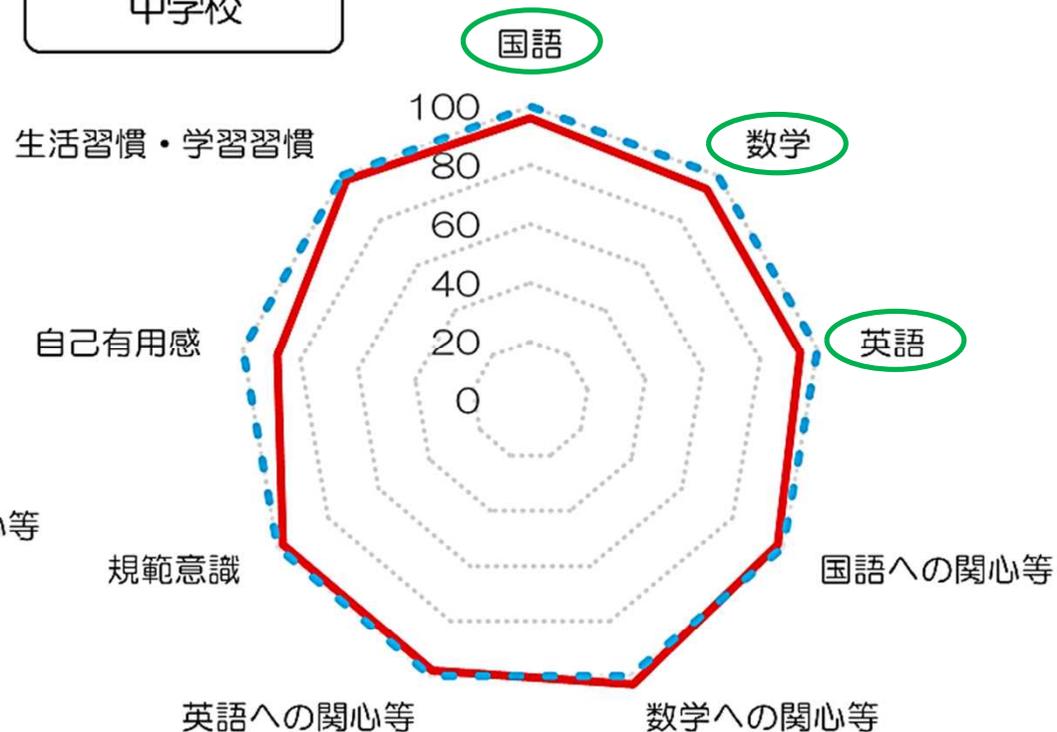
学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等

調査結果の概要

小学校



中学校



*全国の値を100としたときの市の値を表しています。■全国 ■彦根市

「彦根教育学びの提言 プラス ひこねっこ こころそだての6か条」

これからの時代を生きるうえで重要な「非認知能力」を子ども達に育むことをめざして、令和2年度に作成しました。

全国・学習状況調査の児童生徒質問紙の回答状況を6か条の視点で分析しました。

《非認知能力》3つの能力と構成する要素

◇目標の達成

忍耐力 自己抑制力 目標への情熱

◇他者との協働

社交性 敬意 思いやり

◇情動の制御

自尊心 楽観性 自信

(出典「非認知能力が子どもを伸ばす」中山芳一 著 東京書籍)

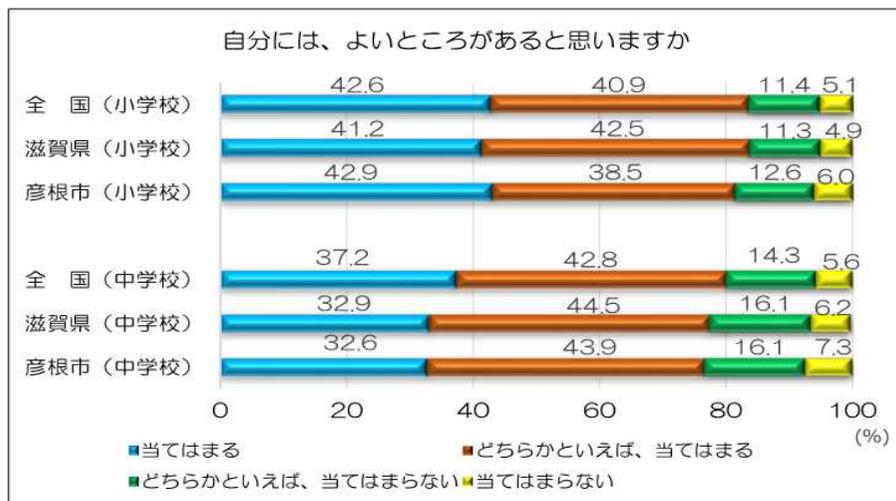
彦根教育学びの提言 プラス 彦根市教育委員会

ひこねっこ こころそだての6か条

い	<p>いいんだよ ありのままで!</p> <p>★子どもは、大人の温かい関わりに安心や信頼を感じます。話をじっくり聞くこと、ありのままを認めることが大切です。</p>
い	<p><small>いっほ</small> 一歩ふみだし やってみよう!</p> <p>★「まず、やってみよう!」「なんとかなるよ!」と応援しましょう。小さな成功体験や失敗から学ぶ経験の積み重ねが、子どもの力を伸ばします。</p>
な	<p><small>まな</small> なぜ?どうして?は 学びのチャンス☆</p> <p>★子どもの疑問に寄り添い、「～したい!」という気持ちを大事にして、探究心をはぐみましよう。</p>
お	<p><small>おも</small> <small>こころ</small> 思いやりの心で つながろう!</p> <p>★「自分なら…」「自分がされたら…」と一緒に考えながら、相手の気持ちを思いやる大切さを、子どもの心に届けましよう。</p>
す	<p><small>すこ</small> <small>じぶん</small> 少しのがまん 自分のために☆</p> <p>★目標達成に向けて、一緒に「計画をたてる」「ルールを決める」などして、時には我慢も必要なことに気づかせながら、自分で判断し行動できる力を育てましよう。</p>
け	<p><small>げんき</small> <small>ゆめ</small> <small>む</small> 元気にチャレンジ 夢に向かって☆</p> <p>★結果のみに注目したり他者と比べたりするのではなく、がんばりや成長をほめて励ますことが、子どもの次のやる気につながります。</p>

い

いいんだよ ありのままで！



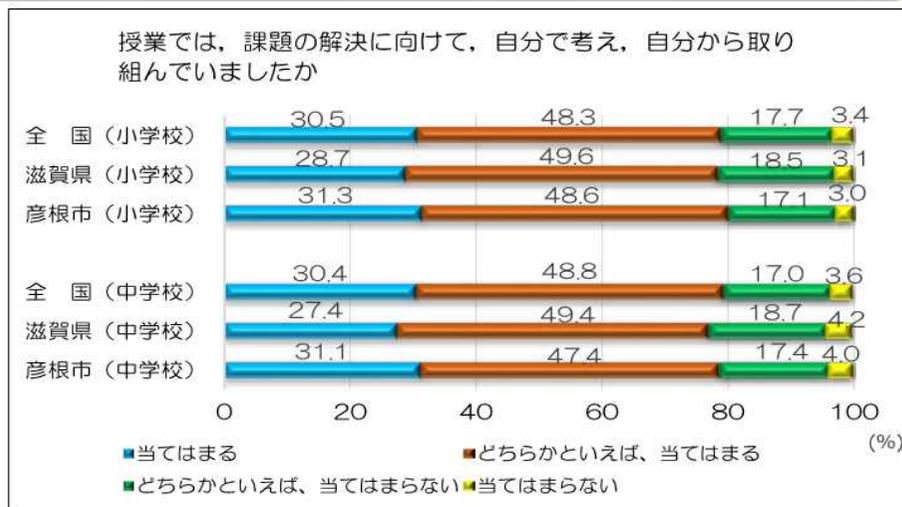
い

一步ふみだし やってみよう！



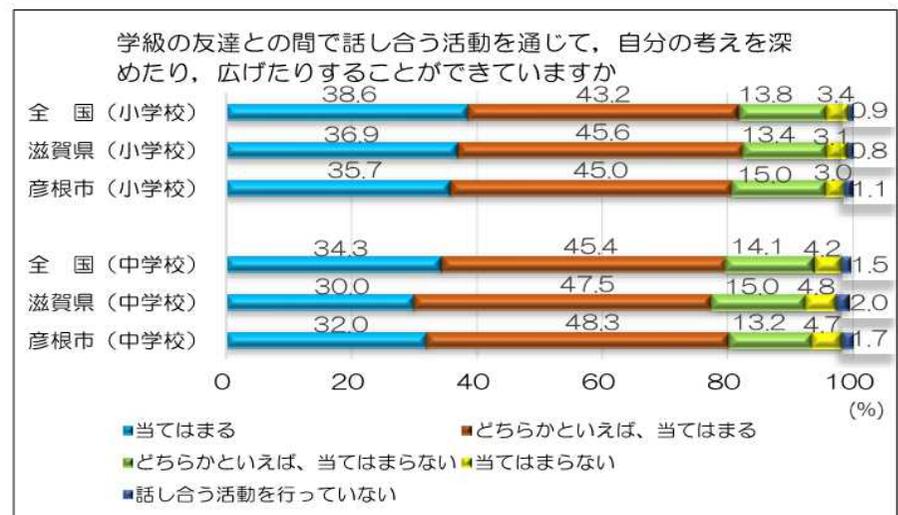
な

なぜ？ どうして？ は 学びのチャンス☆



お

思いやりの心で つながろう！

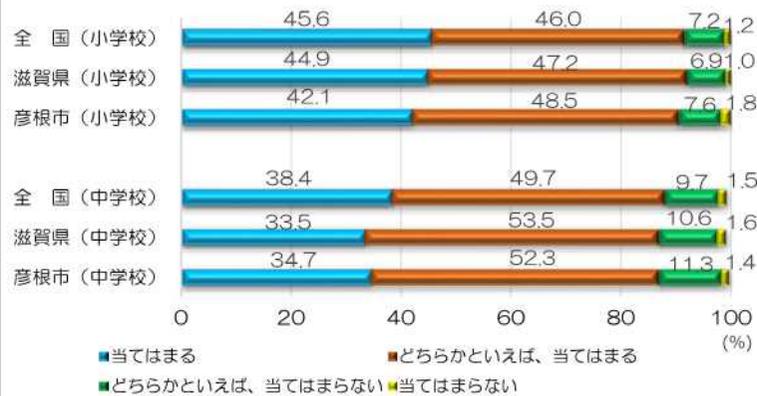


「人が困っているときは、進んで助けていますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という問いに、小中学校ともに85%以上の子どもが肯定的に回答しました。

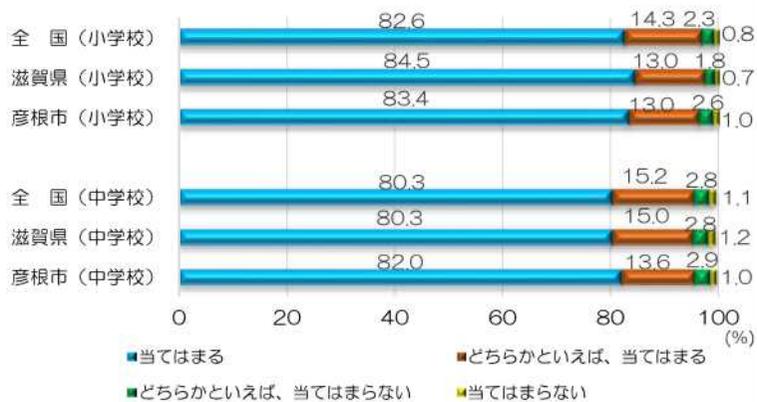
思いやりの心を育むには、共感することが大切です。親や周りの大人に自分の気持ちを共感してもらい、自分の気持ちが満たされることにより、相手を思いやり、協調性を育むことにつながります。



人が困っているときは、進んで助けていますか



いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



す

少しのがまん 自分のために☆

小学校では肯定的な回答が全国平均を少し上回りました。中学校では、50%程度が肯定的に回答しています。

正答率とのクロス集計では、肯定的に回答した子どもは、教科の正答率も高い結果となりました。

自分の課題を明確にし、計画的に取り組み、力を伸ばしていこうとする態度を育てていきたいと考えます。



家で自分で計画を立てて勉強をしていますか
(学校の授業の予習や復習を含む)



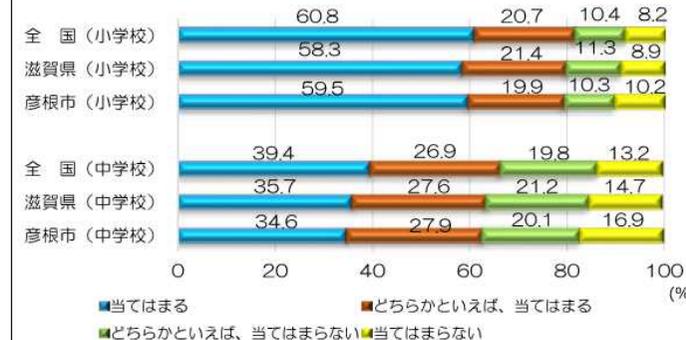
け

元気にチャレンジ 夢に向かって☆

小学校では、80%程度、中学校では60%程度が肯定的に回答しています。

子どもが自分でやろうとした意欲や姿勢を認めることが大切です。結果だけでなく、途中経過の努力をほめられた子どもは、目標に向かって努力を惜しまずに取り組むようになります。

将来の夢や目標を持っていますか



彦根市教育大綱
R4～基本方針

心を磨き可能性を引き出す彦根教育
ふるさとに愛着と誇りを持ち、自ら学ぶ好奇心を兼ね備えた、心豊かでたくましい人づくり

第Ⅲ期
彦根市学力向上推進プラン
(通称 学び実感ひこねプラン)
R4～R6 R5は2年目

生きる力を育む

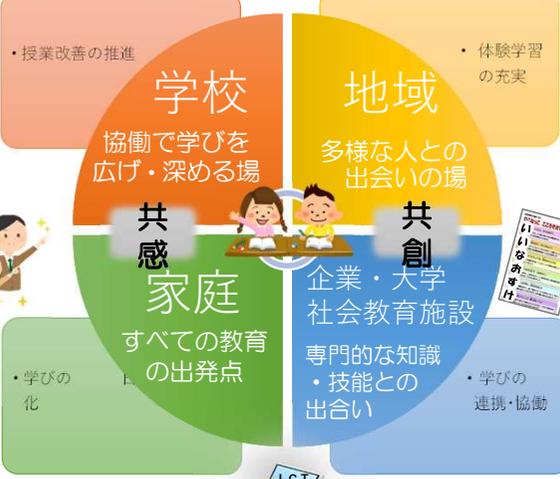
自立して学び続ける学習者の育成

社会とつながる協働的な学びの実現

学ぶ力の向上

教員の指導力向上

知識・技能
思考力・判断力・表現力等
学びに向かう力、人間性等



非認知能力の育成

ひこねの6か条

目標の達成
他者との協働
情動の制御

ICT活用による多様な指導・支援の充実

ふるさと彦根の実感

～彦根らしい学びの追究～



歴史に学ぶ

文化・伝統に触れる

偉人の生き方を探る

自立して学び続ける学習者の育成

徳 豊かな心の育成
知 確かな学力の育成
体 健やかな体の育成

学び実感ひこねプラン

【具体的目標】
・全国学力・学習状況調査において、小中学校の教科に関する調査で、児童生徒の調査結果がすべての教科で全国平均を上回ることができるよう取り組む。
・小中学校の学習状況に関する質問紙調査で、主体的に学習に取り組む態度に関する項目について、肯定的な回答が前年度を上回ることができるよう取り組む。

視点1 「わかった」「できた」を実感し、「もっと学びたい」まで高める 授業づくり
○学びの定着と自身の伸びの自覚を目指した授業づくりの充実
○個別最適な学びや「協働的な学び」のツールとしてのICTの効果的な活用
○目的や条件に応じて粘り強く「書き切る」態度・姿勢を醸成する指導の充実
これだけは 「授業終了の充実」「自分の考えを書く学習活動の充実」

視点2 「安心」して学びに向かう 基盤づくり
○共感的な人間関係を育む学習集団づくりの充実
○非認知能力を育成する指導の充実
○読書活動の充実
これだけは 「聴き合える学習集団づくりの充実」

視点3 「チーム一丸」となって指導改善を進める 体制づくり
○校内研究と研修の充実およびPDCAサイクルの確立
○〇〇Tを活用した学校全体で組織的・継続的に実践する取組の充実
○家庭と授業をつなぐ家庭学習の充実
○家庭・地域との連携
これだけは 「計画的なOJTの推進」「デジタルセーブの取組の推進」

彦根教育学びの提言 プラス 彦根市教育委員会
ひこねっこ ころそだての6か条

- い** いいんだよ ありのままに！
★子どもは、大人の温かい関わりで安心や信頼を感じます。話をじっくり聞くこと、ありのままを認めることが大切です。
- い** 一歩ふみだし やってみよう！
★「まず、やってみよう！」「なんとかなるよ！」と応援しましょう。小さな成功体験や失敗から学ぶ経験の積み重ねが、子どもの力を伸ばします。
- な** なぜ？どうして？は 学びのチャンス☆
★子どもの疑問に寄り添い、「～したい！」という気持ちを大事にして、探究心をはぐくみましょう。
- お** 思いやりの心で つながろう！
★「自分なら…」「自分がされたら…」と一緒に考えながら、相手の気持ちを思いやる大切さを、子どもの心に届けましょう。
- す** 少しのがまん 自分のために☆
★目標達成に向けて、一瞬に「耐えをたてる」「ルールを決める」などして、時には我慢も必要になることに気づかせながら、自分で判断し行動できる力を育てましょう。
- け** 元気にチャレンジ 夢に向かって☆
★結果のみに注目したり他者と比べたりするのではなく、がんばりや成長を褒めて励ますことが、子どもの次のやる気につながります。

実践と検証のPDCAサイクル
・市共通アンケート
年2回、小3～中3、教員
・リーダー研修

中学校区毎や学校の実態に
即した実践と検証

各校の学ぶ力向上策と共通実践

「確かな学力」を育成するPDCAサイクル

4月

7月

8月

12月

1月

2月3月

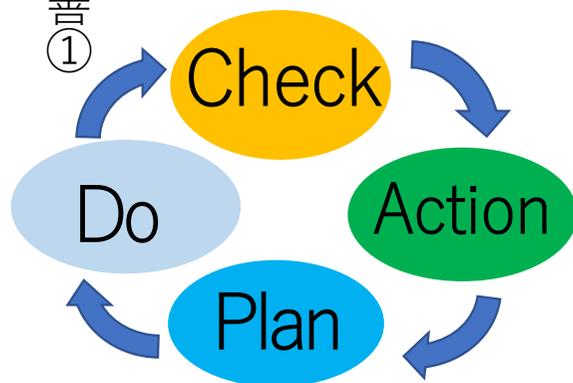
「我が校の学ぶ力向上策」に基づいた実践①

- ・「学び実感ひこねプラン」と「我が校の学ぶ力向上策」の共通理解
- ・4/18 全国学力・学習状況調査
- ・(指定日) 英語「話すこと」CBT調査

- ・「彦根市共通アンケート」の実施①
- ・全国学力・学習状況調査の結果公表

「我が校の学ぶ力向上策」に基づいた実践②

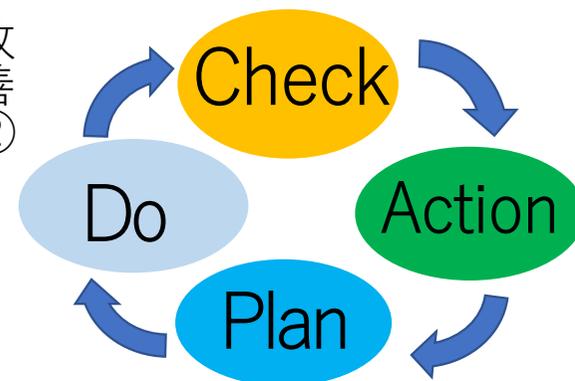
- ・「我が校の学ぶ力向上策」の進捗状況の検証・改善①



- ・「彦根市共通アンケート」の実施②

「我が校の学ぶ力向上策」に基づいた実践③

- ・「我が校の学ぶ力向上策」の進捗状況の検証・改善②
- ・「学びの再マスター」期間の取組



自立して学び続ける学習者の育成

徳
豊かな心の育成

知
確かな学力の育成

体
健やかな体の育成

学び実感ひこねプラン

【具体的目標】

- ・全国学力・学習状況調査において、小中学校の教科に関する調査で、児童生徒の調査結果がすべての教科で全国平均を上回ることができるよう取り組む。
- ・小中学校の学習状況に関する質問紙調査で、主体的に学習に取り組む態度に関する項目について、肯定的な回答が前年度を上回ることができるよう取り組む。

視点1

「わかった」「できた」を実感し、
「もっと学びたい」まで高める **授業づくり**

- 学びの定着と自身の伸びの自覚を目指した授業づくりの充実
- 「個別最適な学び」や「協働的な学び」のツールとしてのICTの効果的な活用
- 目的や条件に応じて粘り強く「書き切る」態度・姿勢を醸成する指導の充実

これだけは

「授業終末の充実」「自分の考えを書く学習活動の充実」

視点2

「安心」して学びに向かう **基盤づくり**

- 共感的な人間関係を育む学習集団づくりの充実
- 非認知能力を育成する指導の充実
- 読書活動の充実

これだけは

「聴き合える学習集団づくりの充実」

視点3

「チーム一丸」となって
指導改善を進める **体制づくり**

- 校内研究と研修の充実およびPDCAサイクルの確立
- OJTを活用した学校全体で組織的・継続的に実践する取組の充実
- 家庭と授業をつなぐ家庭学習の充実
- 家庭・地域との連携

これだけは

「計画的なOJTの推進」「デジタルセーブの取組の推進」

学びの**楽しさ**を実感

学び実感ひこねプラン

学びの**定着**を実感

「3つの視点」と「10の目標達成のための力点」について

視点1

「わかった」「できた」を実感し、
「もっと学びたい」まで高める **授業づくり**

- 学びの定着と自身の伸びの自覚を目指した授業づくりの充実
- 「個別最適な学び」や「協働的な学び」のツールとしてのICTの効果的な活用
- 目的や条件に応じて粘り強く「書き切る」態度・姿勢を醸成する指導の充実

これだけは 「授業終末の充実」 「自分の考えを書く学習活動の充実」

視点2

「安心」して学びに向かう **基盤づくり**

- 共感的な人間関係を育む学習集団づくりの充実
- 非認知能力を育成する指導の充実
- 読書活動の充実

これだけは 「聴き合える学習集団づくりの充実」

視点3

「チーム一丸」となって
指導改善を進める **体制づくり**

- 校内研究と研修の充実およびPDCAサイクルの確立
- OJTを活用した学校全体で組織的・継続的に実践する取組の充実
- 家庭と授業をつなぐ家庭学習の充実
- 家庭・地域との連携

これだけは 「計画的なOJTの推進」 「デジタルセーブの取組の推進」

ポイント

県取組の重点とそろえる

ポイント

キャッチーな合言葉
「わかった」「できた」「もっと学びたい」
「安心」
「チーム一丸」

ポイント

これだけは で焦点化

令和5年度「彦根市の学力向上策」について

取組事項	評価指標
【視点1】 学びを実感できる授業づくり	
○授業終末の充実 ○自分の考えを書く学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒アンケート「授業の終わりにしっかり振り返りを書いて、自分の学びをみつめましたか」について肯定的評価100% ・ 教員アンケート「授業では、児童生徒が自分の考えを書く学習活動をよく設定していますか。」について肯定的評価100%
【視点2】 学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり	
○非認知能力を育成する指導の充実 ○読書活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒アンケート「【目標の達成】・授業では課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。」について肯定的評価100% ・ 児童生徒アンケート「普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（学校で読書した時間も含む。）（市）」について不読率0%
【視点3】 子どものために一丸となって取り組む学校づくり	
○デジタルセーブの取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒アンケート「普段、一日あたりどれくらいの時間、テレビゲームやスマートフォン等をしますか」について「2時間より少ない」の回答が100%

「共通アンケート」の実施

全国学力・学習状況調査の課題

- ・対象が6年、3年のみ
- ・調査を受ける子どもが毎年変わるため、経年での伸びが把握できない



児童生徒・教員に彦根市共通アンケートを実施して経年での伸びを把握し、PDCAサイクルの確立につなげる
(7月、12月頃に実施予定)

Microsoft Formsで実施
自動集計

Forms テスト: 共通アンケート (児童生徒用) - 保存済

質問

1. そう思う・当てはまる・している

2. どちらかといえば (そう思う・当てはまる・している)

3. どちらかといえば (そう思わない・当てはまらない・していない)

4. そう思わない・当てはまらない・していない

5. 理科の勉強は好きですか。*

1. そう思う・当てはまる・している

2. どちらかといえば (そう思う・当てはまる・している)

3. どちらかといえば (そう思わない・当てはまらない・していない)

4. そう思わない・当てはまらない・していない

6. 英語の勉強は好きですか。*

1. そう思う・当てはまる・している

2. どちらかといえば (そう思う・当てはまる・している)

3. どちらかといえば (そう思わない・当てはまらない・していない)

4. そう思わない・当てはまらない・していない

「彦根市共通アンケート」に示している 授業づくり のポイント

導入

教員に調査

- ・ ①授業では、児童・生徒の気づきや問題意識から、めあてを設定していますか。
- ・ ⑩授業では、児童生徒が見通しをもって自分の考えを書けるように手立てを工夫していますか。
- ・ ⑨授業では、児童生徒が自分の考えを書く学習活動をよく設定していますか。
- ・ ⑭話し合う活動では、話し合う内容を焦点化したり、切り返しの発問をしたりして、考えを深めたり、広げたりする支援を行っていますか。
- ・ ⑪授業では、児童生徒が話し合いを通して気付いたことをノートに書き加えたり、修正したりするなどの指導をしていますか。
- ・ ③本時で学習したことについて、自分の言葉でまとめを書かせることに取り組んでいますか。
- ・ ②授業の終わりに、めあてに対応したまとめをする活動を行い、本時の学びを全体で共有していますか。
- ・ ④算数／数学の授業では、授業の終わりに「確かめ問題」に取り組ませていますか。
- ・ ⑤学習した内容について「振り返り」を書く活動において、キーワードや振り返りの視点を示すなどの支援をよく行っていますか。
- ・ ⑥児童生徒の「振り返り」について、次の時間のめあての設定に生かしたり、授業展開に反映させたりしていますか。

・ ⑬授業では、児童生徒に「問い」が生まれる場面を設定していますか。

終末

「彦根市共通アンケート」に示している 基盤・体制づくりのポイント

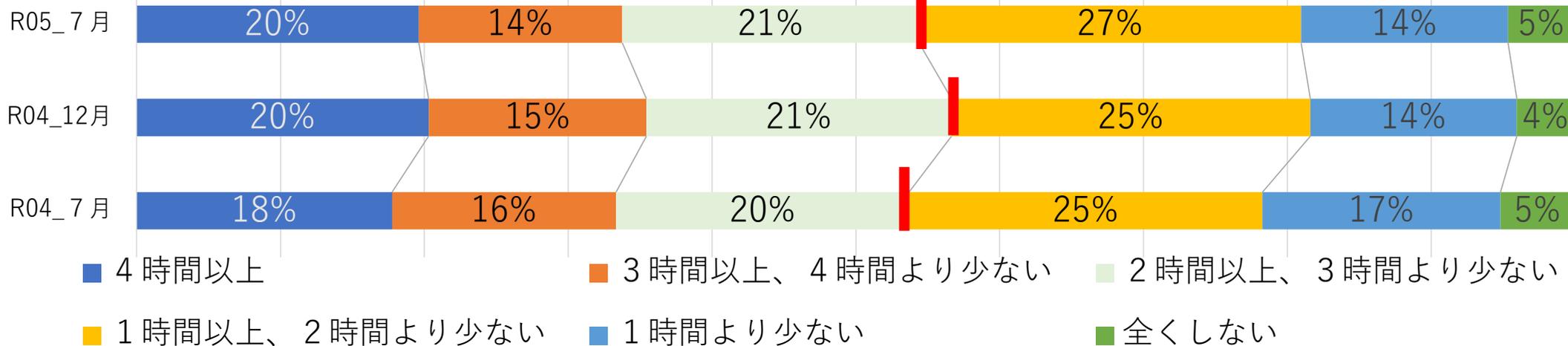
- ・（教科名）の勉強は好きですか
- ・（教科名）の勉強の内容はよく分かりますか
- ・授業のめあては自分たちで決めていたと思いますか【県】
- ・毎日の授業で、わかったことをしっかりノートにまとめていますか【市】
- ・（算数・数学）の授業では、授業の終わりに「確かめ問題」に取り組んでいますか【市】
- ・授業の終わりにしっかり振り返りを書いて、自分の学びを見つめましたか【市】
- ・授業で、コンピュータ等のICT機器をどの程度しようしましたか
- ・学校で、コンピュータ等のICT機器を他の児童生徒と意見を交換したり調べたりするために使用していますか。
- ・授業では、自分の考えを最後まで書こうと努力しましたか。
- ・400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか。【県】
- ・授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。
- ・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか。
- ・難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか。
- ・自分にはよいところがあると思いますか。
- ・授業では、発表している人の方を向いて話を聞き、うなずいたり質問したりするなど反応していますか。【市】
- ・普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか。【市】
- ・家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）
- ・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強を読みますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
- ・普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームやスマートフォン等（コンピュータゲーム、スマートフォンを使っのSNS利用や動画視聴も含む）を読みますか。
- ・携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。

児童・生徒
に調査

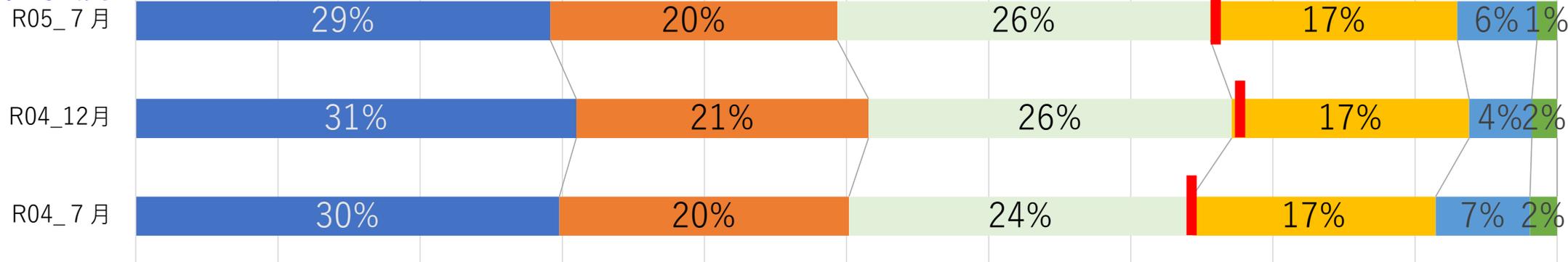
彦根市共通アンケートの結果 「デジタルセーブ」

児・生アンケート「普段、一日あたりどれくらいの時間、テレビゲームやスマートフォン等をしますか」

小学校



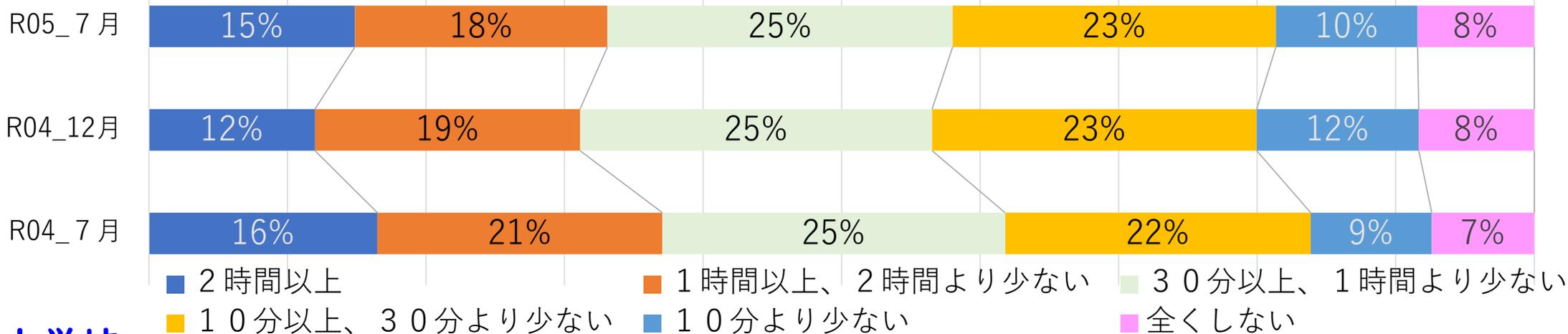
中学校



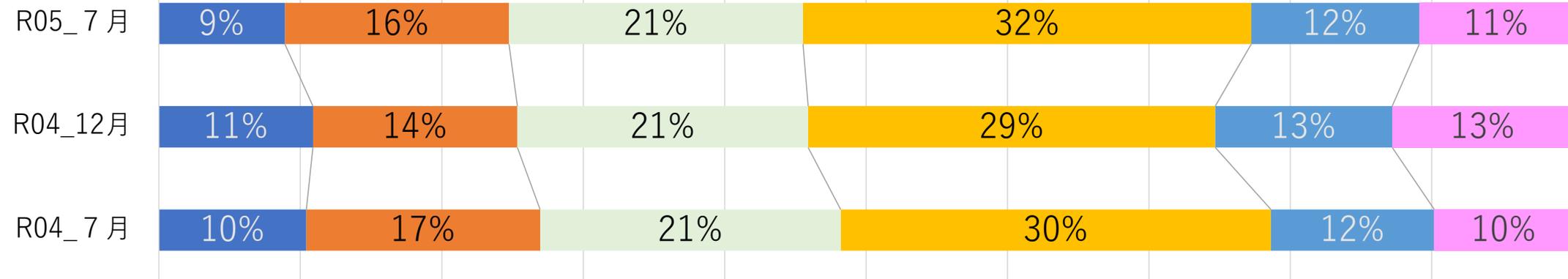
彦根市共通アンケート 「読書の時間」

児童・生徒アンケート「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（学校で読書した時間もふくむ）」

小学校



中学校



学びの再マスタープリントについて

学びの再マスター

令和4年調査問題

出題年度

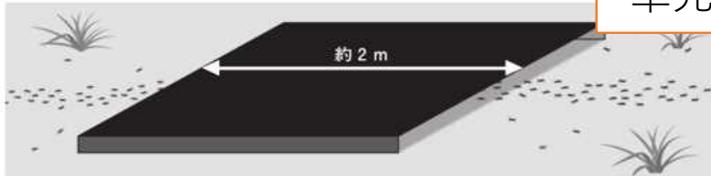
【中学校1年】 生物の体のつくりとはたらき⑧⑨

学年

単元名

【実験1】

① 図のように行列を覆い、10分間まわりの景色を見えなくする。



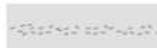
約2m

図 覆いをしたようす

② 覆う前後の行列のようすを写真に撮り、比較する。
③ ①と②の操作を別のアリの行列で3回繰り返す。

【結果1】

6月9日(13時から15時) 場所: 中央公園

覆いをする前			
覆いをした後			
	1回目	2回目	3回目

【考察1】

この実験の結果からは、アリの行列のようすは ので、 と考えられる。
...

(1) , に当てはまる適切な言葉をそれぞれ書きなさい。

P

Q

【レポートの続きの一部】

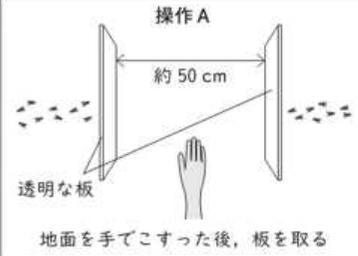
【調べたこと】
アリは、腹部の先から「においの物質」を出し、地面に付けながら歩く。

【課題2】
アリは、嗅覚による情報をもとに行列をつくるか。

【実験2】

① アリをつぶさないように2枚の透明な板で行列を分断する。
② 操作Aと操作Bを行った後のアリの行動を比較する。

操作A

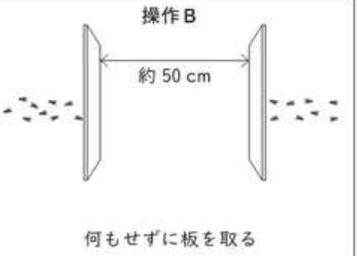


約50cm

透明な板

地面を手でこすった後、板を取る

操作B



約50cm

何もせずに板を取る

【結果の予想】
嗅覚による情報をもとにしていれば、操作Aは行列をつくらず、操作Bは行列をつくるだろう。
...

【予想と異なる結果が出る場合について考える場面】

もし、【結果の予想】と異なり、操作Aも操作Bも行列をつくる結果になった場合は、どのように考えればよいですか。

私は、嗅覚による情報をもとにしていないと考えます。

私は、アリの種類を変えて同じ操作で確かめるとよいと考えます。

私は、操作Aで、 ことができなかったのではないかと考えます。

(2) に当てはまる適切な言葉を書きなさい。

正答率が全国平均以下や、70%以下の問題を抽出

学びの再マスタープリント活用のススメ

プラス1問！ 単元末の評価問題として活用！

3学期の「学びの再マスター期間」以外でも活用が可能です！



市販の業者テストだけで、思考・判断・表現まで評価するのは、どうも違和感が・・・

それなら、**学びの再マスタープリントの活用を！**学習指導要領に示された資質・能力が身に付いているかを評価するのにぴったりです。



例として算数科の年間計画に学びの再マスタープリントの活用時期を示しました。小学校理科、中学校数学・理科もあります。



いくつかの単元では、**評価問題としてプラス1問**で活用できますね。

この問題を解けるようになるための授業展開を考えるぞ！



「学びの再マスタープリント」の活用時期を位置付けた年間指導計画 小学校算数科

3年	4年	5年
1 数の性質	1 数の性質	1 数の性質
2 分数	2 分数	2 分数
3 小数	3 小数	3 小数
4 図形	4 図形	4 図形
5 統計	5 統計	5 統計
6 総合的な学習の時間	6 総合的な学習の時間	6 総合的な学習の時間
7 算数	7 算数	7 算数
8 算数	8 算数	8 算数
9 算数	9 算数	9 算数
10 算数	10 算数	10 算数
11 算数	11 算数	11 算数
12 算数	12 算数	12 算数
13 算数	13 算数	13 算数
14 算数	14 算数	14 算数
15 算数	15 算数	15 算数
16 算数	16 算数	16 算数
17 算数	17 算数	17 算数
18 算数	18 算数	18 算数
19 算数	19 算数	19 算数
20 算数	20 算数	20 算数
21 算数	21 算数	21 算数
22 算数	22 算数	22 算数
23 算数	23 算数	23 算数
24 算数	24 算数	24 算数
25 算数	25 算数	25 算数
26 算数	26 算数	26 算数
27 算数	27 算数	27 算数
28 算数	28 算数	28 算数
29 算数	29 算数	29 算数
30 算数	30 算数	30 算数
31 算数	31 算数	31 算数
32 算数	32 算数	32 算数
33 算数	33 算数	33 算数
34 算数	34 算数	34 算数
35 算数	35 算数	35 算数
36 算数	36 算数	36 算数
37 算数	37 算数	37 算数
38 算数	38 算数	38 算数
39 算数	39 算数	39 算数
40 算数	40 算数	40 算数
41 算数	41 算数	41 算数
42 算数	42 算数	42 算数
43 算数	43 算数	43 算数
44 算数	44 算数	44 算数
45 算数	45 算数	45 算数
46 算数	46 算数	46 算数
47 算数	47 算数	47 算数
48 算数	48 算数	48 算数
49 算数	49 算数	49 算数
50 算数	50 算数	50 算数
51 算数	51 算数	51 算数
52 算数	52 算数	52 算数
53 算数	53 算数	53 算数
54 算数	54 算数	54 算数
55 算数	55 算数	55 算数
56 算数	56 算数	56 算数
57 算数	57 算数	57 算数
58 算数	58 算数	58 算数
59 算数	59 算数	59 算数
60 算数	60 算数	60 算数
61 算数	61 算数	61 算数
62 算数	62 算数	62 算数
63 算数	63 算数	63 算数
64 算数	64 算数	64 算数
65 算数	65 算数	65 算数
66 算数	66 算数	66 算数
67 算数	67 算数	67 算数
68 算数	68 算数	68 算数
69 算数	69 算数	69 算数
70 算数	70 算数	70 算数
71 算数	71 算数	71 算数
72 算数	72 算数	72 算数
73 算数	73 算数	73 算数
74 算数	74 算数	74 算数
75 算数	75 算数	75 算数
76 算数	76 算数	76 算数
77 算数	77 算数	77 算数
78 算数	78 算数	78 算数
79 算数	79 算数	79 算数
80 算数	80 算数	80 算数
81 算数	81 算数	81 算数
82 算数	82 算数	82 算数
83 算数	83 算数	83 算数
84 算数	84 算数	84 算数
85 算数	85 算数	85 算数
86 算数	86 算数	86 算数
87 算数	87 算数	87 算数
88 算数	88 算数	88 算数
89 算数	89 算数	89 算数
90 算数	90 算数	90 算数
91 算数	91 算数	91 算数
92 算数	92 算数	92 算数
93 算数	93 算数	93 算数
94 算数	94 算数	94 算数
95 算数	95 算数	95 算数
96 算数	96 算数	96 算数
97 算数	97 算数	97 算数
98 算数	98 算数	98 算数
99 算数	99 算数	99 算数
100 算数	100 算数	100 算数

赤字はR5【記述】追加分です。

Mドライブにデータがあります。

評価問題が変われば授業も変わります。積極的に活用ください。



「学びの再マスタープリント」の活用時期を位置付けた小学校算数科年間指導計画

「チーム一丸」となって取組を進めるために

授業づくり

「学ぶ力」向上の取組

「再構築した姿」
ゴールの明確な設定

「我が校の学ぶ力向上策」
の「評価指標」の共通理解
ゴールの明確な設定

具体的な支援

具体的な取組

適切な評価

定期的な検証

次時の質の向上へ

次の取組の質の向上へ



ゴールがはっきり
していると、支援が
具体的・意図的に
なりますね



目指す子どもの姿
がはっきりしてると、
展開のよかった
ところや修正点
が見えてきますね



最初に、目指す子ども
の姿や、アンケート項目
を共有すると、学校全体
で何に取り組めばいいの
かがはっきりし、指導の
ベクトルがそろいますね



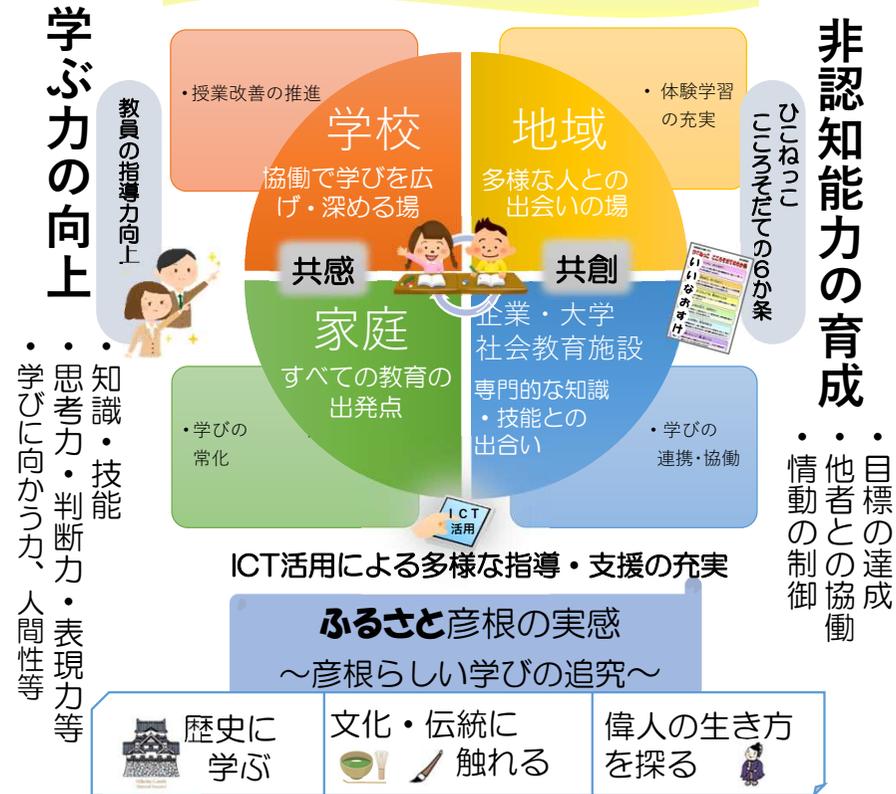
アンケート項目も
事前に共通理解して
いるので、定期的な
検証・改善のサイクル
を確立しやすくなり
ますね

生きる力を育む



自立して学び続ける学習者の育成

社会とつながる協働的な学びの実現



学ぶ力の向上

教員の指導力向上

- 知識・技能
- 思考力・判断力・表現力等
- 学びに向かう力、人間性等

非認知能力の育成

ICT活用による多様な学びの場

- 目標の達成
- 他者との協働
- 情動の制御

ふるさと彦根の実感

～彦根らしい学びの追究～



歴史に学ぶ

文化・伝統に触れる

偉人の生き方を探る

